

でっかい富士山とアシタカツツジを探そう

愛鷹連峰 越前岳

実施日 2022年5月22日(日)  
 天候 曇り時々晴れ  
 リーダー 峯川 弘子  
 参加者 石附智江、遠井謙策、石原勝正、  
 峯川弘子、宮崎敏男 計5名  
 費用 小田急線往復2,592円～  
 JR御殿場線往復1,020円  
 3,530円/1名  
 タイム 山神社駐車場(9:20)富士見峠(10:13)黒岳(10:35-45)富士見峠(11:03)鋸岳展望台(11:38)富士見台(12:32)越前岳(13:05-35)呼子岳(14:25-14:39)割石峠(15:12)山神社駐車場(17:10)

駅周辺は晴れているがタクシーの車窓から楽しめる自衛隊の東富士演習場にそ



びえたつでっかい富士山が姿を見せない、登山口は曇り、愛鷹連峰本日1座目の黒岳に向かう。残念ながら眺望は見えないが、愛鷹越

大杉群がお出迎え、そこから2座目の越前岳を目指す。所々の急登で息があがる

中、徐々にツツジが現れ始めた、気温が低い地域なのでミツバツツジ、山ツツジもまだ満開。その中でひとときわな目立つ艶やかな紫がかった濃いピンクのツツジ、アシタカツツジか？歓声もテンションもある。(何回か見ているのに花を特定する知識がなくすみません 汗)



途中にある展望台でも雲がとれず愛鷹連峰の眺望は折がなし、時折薄日が差すがよりやくたどりついた越前岳山頂は完全にガスに覆われていた。見えるはずの



南アルプスとその前衛の山々、駿河湾はどこ？それでも日曜日とあって人が多い。

写真を撮って頂き、さあ皆で楽しい昼食！そしてスの中いよいよ本日のメイン？下山道のツツジ回廊コースへ、コイワカガミの群生、次々と出てくる各種のツツジ、名前がわからない花を楽しみながら愛鷹連峰本日3座目の呼子岳へ、そこからは年々すすむ崩壊で登山道の雰囲気ガラッと一変。



気が抜けない道を慎重に下り鋸岳分岐の割石峠に到着した。名前の由来通り？なかなかの映えスポットかも。

雲がとれていれば愛鷹山塊が見渡せる蓬莱山に登る予定もしていたが今回は見送った。次は大沢、岩ゴロゴロがしばらく続く、ここも慎重に。



ようやく沢から解放されると一転して苔むした岩や木々に囲まれたもののけの世界、雰囲気のある風景になった。そして名所の？大杉で記念撮影。

最後の山神社駐車場へ続く林道に入る手前の沢の渡渉は今回は水が全くなく、そこでは大きいタイヤを履いたジープ数台が岩と格闘しながら進む遊びを楽しんでいた。聞いてみると通称「ロック」という遊びらしい。最後まで飽きない？大沢コース、越前岳へ行くならぜひおすすめ！



※今回雨天子報で日程変更の為に不参加を余儀なくされたメンバー、体調不良で当日キャンセルされたメンバー残念です。



リベンジ越前いつでもお付き合いさせて頂きますm( )m  
 (記&写真・峯川 弘子)  
 (写真提供・石原勝正/宮崎敏男)

【メンバーの感想】 (原文)

☆石附さん☆

天気はまあまあでしたが、最高でした。あしたかつつじも見られて良かったです?

何より5人で楽しく歩けたことです! 途中晴れ間で鋸岳も見られてよかったです。

越前岳で美味しい昼をでも汗をかいた後で寒いくらいでした。

下りの長いのは、少しまいりました! 今は無事に歩き終えた満足感でホットしています!

リーダーお疲れさまでした! 有り難うございました。最高です?

☆遠井さん☆

1日遅れの実施が妻の誕生日祝いとの二者択一を迫った。

こぶし会を選択し参加した本山行はガスガスで眺望は残念だった。アシタカツツジやコイワカガミそして見事な大杉小杉が、歩き甲斐ある行程に彩りを添え、はるばる御殿場へと足運んだのは正解だった。

妻にはせめてもの心尽し、帰路最高級ケーキを奮発購入し手渡した。

☆石原さん☆

山行の登りはV字型に削られた登山道と露出した木の根に、下山路は沢沿いのガレ道に苦しい山行だったが、山の萌える若葉の濃いピンクで満開の愛鷹ツツジの花や群生したイワカミな癒されたい周回コースを満喫できてリーダーに感謝です。あまく登山中は濃いガスに包まれた山行でしたが、次回来たら富士の大展望期待ですよ。

☆宮崎さん☆

楽しい山行、今回も有難うございました。登りよし下りよしの面白い周回でした。展望があれば、又違った行程になったのでしょうね。

又ご一緒お願いします。

【越前岳雑感】

ここは地元、ホームの山、ポピュラーな4つの登山ルートでも途中から知る人ぞ通る道がいろいろ枝分かれしていたりする。

山の一部が個人所有といううわさもあり、ある日突然「ここは正規ルートではありません。」などと誰が書いたのか不明の張り紙が木に括り付けてあって戸惑うことも。裾野市側麓の道路沿いどこから入っても登れると聞くが、怖すぎで試してみる気はしない。特に鋸岳方面は崩落が激しく廃道、通行止め箇所が多々あり、長泉町、沼津市へと続く愛鷹連峰への登山道は行く度に付け替えられていたりして迷うこともしばしば。今回の山行の為に、昨年目撃した登山道崩落の復旧情報の入手で、市や地区の支所、観光協会や越前岳の環境整備をしている地元の登山クラブに問い合わせたがどこが、だれが管理しているのか誰もわからないという不思議な山。

富士の裾野、裾野市と富士市の間に鎮座して富士五湖周辺よりでかい富士山を見ることができる。深田久弥のファンクラブ「深田クラブ」が静岡の外れのこんな小さな市町の山を200名山に選定したのもうなづける気がします。